

令和2(2020)年度入学試験問題出題のねらい (一般選抜(B方式))

中村学園大学〔栄養科学部〕

【英 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した英語の基礎学力・運用力をみる問題で構成。コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱの範囲から、まんべんなく出題している。

第1問 誤りやすい単語の正しい発音・アクセントの理解を問う。

第2問 文法・語彙・語法の基礎的な知識を問う。

第3問 2人の対話文の中で前の発話とのつながりから内容を推測する力、および、文法・語彙・語法の基礎知識を用いた英文の構成力を問う。

第4問 会話の流れを正確に把握する力、コミュニケーション英語力、英文中の情報を正確に読み取り判別する力を問う。

第5問 失敗から学ぶことについての英文を用いて、長文の読解力・内容把握力を問う。内容把握以外の瑣末な知識は問わない。

【国 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した基礎力・読解力の定着度を確認する問題を出題している。出題は、国語総合(漢文を除く)の範囲である。

第1問 現代文・評論 佐藤健二『ケータイ化する日本語——モバイル時代の“感じる”“伝える”“考える”』からの出題。

漢字の書き取り・読みといった基本的な知識に加え、空欄補充、傍線部の理由説明、傍線部の内容説明、内容合致といった問題で文章を論理的に読み取る力を問う。

第2問 古文『海人の菟藻』からの出題。

古語の読み、語句の意味、文法、敬語などの基本的な知識に加え、傍線部の解釈、登場人物の心情、和歌の解釈といった読解問題で、文章を丁寧に読み取る力を問う。

【数 学】

〈出題のねらい〉

3大問で構成されており、センター試験よりやや易しいレベルの問題である。各分野から偏りなく出題されており、教科書の基礎・基本が確実に身につけているかどうかを問うている。

第1問 データの分析、場合の数と確率、整数の性質、微分法・積分法の分野からの出題。(1)は平均値と分散の値を求める問題。(2)は余事象の確率と条件付き確率を求める問題。(3)は最小公倍数と最大公約数に関する問題。(4)は定積分と微分法に関する問題。

第2問 2次関数の分野からの出題。グラフの平行移動と x 軸との位置関係や最大値に関する問題。

第3問 図形と方程式の分野からの出題。円の中心と半径や、円と直線が2点で交わる条件を求めたり、円 C 上の点 P について考える問題。

【化学基礎】

〈出題のねらい〉

化学基礎の基本的な内容を中心に、各分野の内容を幅広くみる問題で構成している。

第1問 「化学と人間生活」「物質の構成」の分野から、単発の小問形式で基礎的な項目について問う。

第2問 「物質と化学反応式」の分野から標準的な内容を、「化学結合」の分野から基礎的な内容を問う。

第3問 酸・塩基の中から、水素イオン濃度、指示薬、中和滴定曲線と濃度の計算、実験操作などについて問う。

第4問 酸化還元の中から、酸化還元反応の定義、電池、酸化還元反応の量的関係などについて問う。

【生物基礎】

〈出題のねらい〉

生物基礎の全分野から、基本的な内容を中心に出題する。

第1問 「小問集合」(生物基礎)

生物基礎の全分野から、小問形式で出題する。文章選択や語句選択、組合せ形式などで、様々な観点から基本的な知識や理解を問う。

第2問 「生物と遺伝子」(生物基礎)

生物基礎の「生物と遺伝子」の分野の内容を中心に出題する。本問では、DNA 解明の研究を題材に、その内容や DNA の構造、塩基の相補性、塩基配列など、基本的な知識や理解を問う。

第3問 「生物の体内環境の維持」(生物基礎)

生物基礎の「生物の体内環境の維持」の分野の内容を中心に出題する。本問では、ホルモンについて、そのはたらきや内分泌腺の位置、フィードバックなど、基本的な知識や理解を問う。

第4問 「生物の多様性と生態系」(生物基礎)

生物基礎の「生物の多様性と生態系」の分野の内容を中心に出題する。本問では、炭素循環について、図の理解や代謝との関連など、基本的な知識や理解を問う。